

◎緑の風公園との連携

●本計画地において、北側「緑の風公園」との連携を考えた配置計画は、重要な課題として、公共性を重視して敷地内の通路を有効に確保する事により、あらゆる歩行者動線確保を維持するだけでなく、新たな人の流れを生み出す誘引材料になるべきことを目指しています。そこで、一体感をより豊かなものとして実現する為に、公園へのアクセスとしてのベデストリアンデッキを提案いたします。

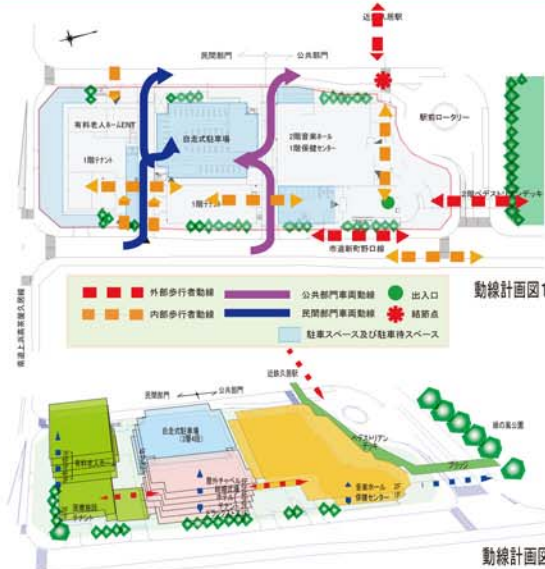


◎動線計画（人・自動車）

●周辺道路等の関係
計画地は近鉄久居駅前であり、さらに東西南北の4面が道路に面したアクセスの良い立地です。一方、主要国道165号から約500m程南に入った位置であり、良好な住環境を築く事の出来る立地と考えます。

◎施設配置の方針

●「まち」づくりに寄与する多機能な施設配置
施設配置を考える上で、特に配慮すべき点はそれぞれの動線を明確にしなが、各施設毎の居住性、機能性、快適性などを損なわない事を考えました。多世代交流コーナーを中心とした「まち」の多機能を効率良くかつそれぞれの機能が密接な関係を保ちながら共生し、安心して利用出来る空間づくりの実現に向けた施設配置計画を上ブロック図の様に計画いたします。



◎ユニバーサルデザインについての考え方

●全ての人々が「安心」・「安全」で快適に、そして気軽にこの施設を利用出来る様、ハード・ソフト両面でのバリアフリー化によるユニバーサルデザインを推進します。
タイムフリーとエイジフリー
ユニバーサルデザインの採用
アプローチ計画（駅からの動線）
アプローチ計画（老人ホームへの動線）



◎緑地計画についての考え方

●津市総合計画による「美しい環境と共生するまちづくり一次世代に残す自然環境の保全・創造」の考えに基づき、北側「緑の風公園」と調和した豊かな緑ある空間を創出・提案します。
地域にあった植生選択
多くの自然を建物に取り組みで配置
みんなで管理し地域の人々との交流
視覚・聴覚・嗅覚を刺激する環境植栽空間

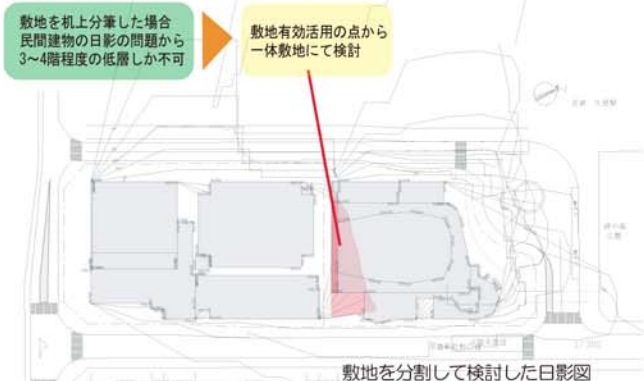


◎駐車場についての考え方

●駐車場整備計画に関しては、計画敷地中心位置に3層4段自走式駐車場を設置して車196台、自転車290台を収容いたします。（平面駐車を加えた合計は243台です。）

◎日影検討に関して

●公共部門と民間部門の敷地を確認申請上において机上分筆すると、日影による影響がある事から、公共・民間の計画敷地を一体として、計画いたします。



◎テナント配置の考え方

●「賑わいの街づくり」
民間テナントは福祉施設を中心に医療・フィットネス・託児所・喫茶・レストラン・カルチャーセンター・結婚式場・ホテルを集めて、若者から高齢者まで幅広い他多世代の交流を図ります。又、この民間テナントが公共施設と上手く連携をとって「賑わいの街づくり」を演出します。

◎環境負荷の低減、ライフサイクルコストの低減について

●環境共生への目標として、あらゆる方向から環境へ配慮した施設づくりを目指します。

●温室効果ガスの排出削減を目指し、CASBEE AランクからSランクを目指した基本とした計画を行います。



◎周辺との調和、周辺環境の向上に関して

●周辺との調和や、駅前という立地を考慮した外観デザイン

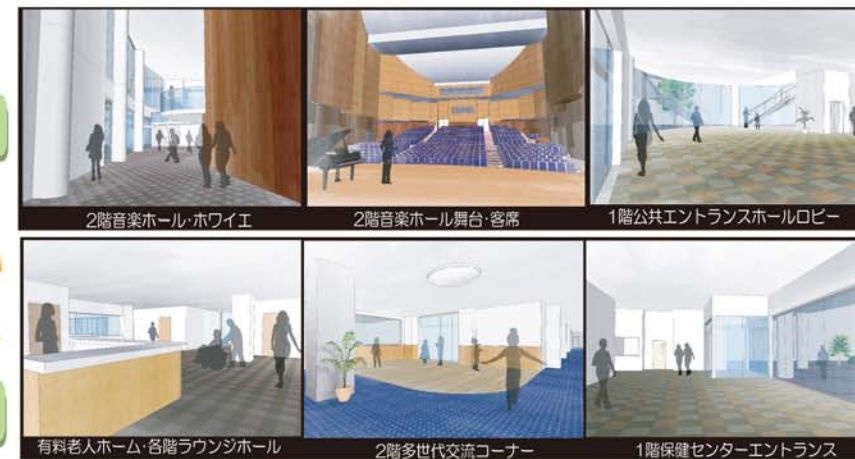
音楽ホールには象徴的なデザイン・奇抜なカラーを避け、景観に配慮した色彩計画
単調にならず、街並みに潤いを与える配慮

●地域の景観に調和した色彩計画

津市の木「ケヤキ」や花「ツツジ」や緑の風公園や借楽公園をイメージし、地域の景観に調和した、温かみと優しさを併せ持った色彩計画を提案します。

◎建築計画

- 音楽ホール
- 保健センター
- 医療・介護ゾーン
- 商業テナントゾーン
- ホテル・結婚式場ゾーン



5つのコンセプトカラー「日本の伝統色」による【共演】



◎設備計画

●音楽ホール施設計画
室内騒音許容値をNC-25～30とします。駅舎が隣接するため、騒音を防ぐ遮音効果のある二重壁とし、舞台背面も通路を設け二重とします。外壁断熱や熱遮蔽のガラス、屋上・外壁緑化も併用し、建物負荷を低減しています。

建築種別	室名	騒音レベル (dB)		NC値 (dB)	
		昼 (10時～16時)	夜 (16時～24時)	昼 (10時～16時)	夜 (16時～24時)
音楽ホール	コンサート及びテレビスタジオ	20	25	30	25
	リハーサル室	20	25	30	25
	練習室	30	32	35	27
	音楽ホール	35	40	45	30
その他	多目的ホール	40	45	50	35
その他	レストラン	40	45	50	35

◎構造計画

●音楽ホール・保健センター棟の主体構造は耐震安全性・遮音性・気密性を考慮し鉄骨鉄筋コンクリート構造で計画し、人命の安全確保に加えて機能確保が図れる構造計画とします。（重要度係数1.25）有料老人ホーム・ホテル棟の主体構造は鉄骨造とし、一部耐震制震ブレースを取り入れることにより、建物強度と剛性を高めることも考慮にいきます。



◎多目的ホール案

今回提案は、事前の各ホールのヒアリングから音楽ホールに特化した段床式が適切と判断しましたが、種々の御要望で多目的な平土間式が良い場合はこの様なプランを提案します。多目的ホールは段床式の音楽ホールに比べて、平土間で客席を壁面収納した、いわゆるロールバック式の座席で構成したホールで、音楽以外にもイベント・講演・宴会等、多目的に利用が可能となります。しかし多くの用途に使えるということは逆に専用目的で使うには満足できない場合もあります。そして多目的ホールは音楽ホールと比べるとNC値30～40となり、音響的にはやや欠ける点があります。

